

◆ 10年後の想定社会状況

地域創生にかかると、ひと・まちの取組が進み、経済活動が活性化することに伴い、市内人口の流動も活性化することで、課題はさらに複雑化していきます。一方で、民間企業との連携体制が大ききな資源となっています。

◆ 分野別指針

環境・経済・社会の課題を踏まえ、公民連携して複数課題の統合的な解決を図る地域循環共生圏の枠組みの中で、排出CO₂の削減、生物の多様性確保、健全な水循環、森林資源や農地の保全・活用がなされる持続可能なまちを目指します。

◆ 個別計画

- ・ 環境基本計画
- ・ 地球温暖化対策実行計画
- ・ 生物多様性おかげ戦略
- ・ 水環境創造プラン
- ・ 一般廃棄物処理基本計画
- ・ 岡崎西尾地域ごみ処理広域化計画

- ・ 森林整備ビジョン
- ・ 森林整備計画
- ・ 農業振興計画
- ・ 山村振興計画

◆ 主な取組

- ・ これまでの環境教育や環境啓発による環境行動への誘導に加え、地域経済循環や社会課題解決と連動した環境行動への誘導策を積極的に推進していきます。
- ・ 西三河はものづくり産業が盛んなため、再生可能エネルギー、省エネルギー、新たな移動手段など排出CO₂削減に資する取組がより一層求められることから、地域電力小売会社や地域の民間企業と一体となり、経済循環の中で削減目標の達成を目指していきます。
- ・ 市域のおよそ6割を占め、水源涵養などの多面的機能を有する森林については、森林経営管理法の制定や地域商社の設立をきっかけとする販路網の構築を加速し、地域経済活動の活性化と効率的な森林の保全・活用を図ります。
- ・ 農地については、集約大規模化や、ブランド化・販路網の構築による経営の自立などにより、地域経済活動の活性化と効率的な農地の保全・活用を図ります。